

令和6年度第2回 国立大学法人新潟大学物品・役務等契約監視委員会 議事概要

開催日時及び開催方法	令和6年7月24日（水） 13時15分～15時10分 Zoomによる開催
委員	委員長 田代文俊（監事）, 委員 逸見和宏（監事）, 委員 杉野学史（監査室長）, 委員 山田寿（弁護士）欠席
審議対象期間	令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）
抽出案件	政府調達（総合評価） 1件, 政府調達（最低価格） 2件, 一般競争 4件, 随意契約 1件 計 8件
質疑応答部署	財務部財務管理課, 医歯学総合病院管理運営課
委員からの質問・意見等, それに対する回答等	下記のとおり
委員会による意見の具申, 勧告の内容	不適切な点, 改善すべき点はなかった。

【審議事項】 令和5年度に締結された契約のうち, 抽出された契約の審議

1. 新潟大学情報セキュリティ対策支援業務請負（政府調達・最低価格）

質問・意見等	説明・回答
関係資料の提供を受けているがどの程度の内容なのか。	意見招請である程度の仕様を説明した上で, 提供を受けた関係資料を参考に仕様書を確定している。
前回契約額から増加しているが, 妥当性の確認はどうしたのか。	増額の内訳は, 大半を占める人件費の高騰によるものであった。また, セキュリティー対応等の仕様内容の変更も増額の要因となっている。
請負業者は全省庁統一資格の何等級か。	C等級である。
リースにしなければならない理由は。	複数年契約のため契約期間にわたって支払うことにより経費の平準化が図れる。また, 情報機器は陳腐化が速いため買取をせずリース契約を行った。
参考見積書と入札書の日付が同一なのはなぜか。	政府調達の場合は, 開札日前に必要な書類の提出日を定めているため, 参考見積書と入札書の日付が同一となることがある。

2. 超高感度オートELISAシステム (政府調達・最低価格)

質問・意見等	説明・回答
米国製品であるが、応札業者が輸入代理店なのか。	国内唯一の輸入代理店である(株)▲▲▲▲と取引がある応札業者となっている。(株)▲▲▲▲と取引のある業者であれば応札可能ということである。
令和3年12月に同等の製品を購入しているが、この製品との関係はどうなっているのか。	今回の契約は別の研究目的での調達である。
納入業者は全省庁統一資格の何等級か。	A等級である。

3. 患者誘導システム (政府調達・最低価格)

質問・意見等	説明・回答
契約期間の記載がないが、まだ納入されていないのか。	本年5月上旬に納入は完了している。
買取り契約ということか。	買取り契約である。
予定価格積算方法について、他大学の情報は得られなかったのか。	入手出来なかった。

4. セントラルモニタ (一般競争)

質問・意見等	説明・回答
同等品の審査を行い、仕様を満たさないため不合格扱いをしているが、不合格理由を教えて欲しい。	特質仕様書の機能・性能・特質性に示した1から10のうち、6と8番を満たしていなかったため、不合格とした。
不合格の場合の通知方法は。	文書で通知した。

5. 実験台 (一般競争)

質問・意見等	説明・回答
仕様書に(株)島津理化製または同等のものとしており、島津理化系列会社が有利に働くように見えるが、特定理由は何か。	製品名を示すことで応札業者に規格を周知できる。また、同等品でも規格を満たしていれば応札可能なので、競争性、公平性に問題があるとは考えていない。
仕様書を作成する段階で、事前に特定の業者が入ってくることはあるのか。	他の契約でも十分考えられる。「または同等のもの」として競争性を担保しているため、採用した規格の業者が有利になることはないと考えている。
落札した業者は仕様書に記載した(株)島津理化製に関係はあるのか。	同じ系列会社である。
一般競争せず、随意契約で調達できたのではないか。	随意契約を適用する条項がないため、一般競争に付した。

6. ミリ波不当間隔2次元アレ-FMCWレーダ開発 (一般競争)

質問・意見等	説明・回答
製造請負なので随意契約で調達できなかったのか。	仕様内容を勘案すると一般競争での調達が可能と判断した。

7. 仮想病院アプリケーション及びVR用Chat GPTの作成、VR既存コンテンツの統合 (一般競争)

質問・意見等	説明・回答
本仕様は、△△△△△△(株)にて開発することとしているが、△△△△△△(株)と直接契約できなかったのか。	△△△△△△(株)は直接契約をせず、代理店を介してしか取引を行っていない。また、△△△△△△(株)が開発したツールを使って、▼▼▼▼▼▼(株)が作製するものである。
説明会等の参加状況に3パターン見受けられるが、何か決まり事があるのか。	政府調達案件は、入札説明会等を実施している。他の一般競争は、仕様内容に応じて必要と判断した場合は入札説明会を実施している。

9. ワクチン接種後抗体価測定検査 (随意契約)

質問・意見等	説明・回答
毎年行っている検査と今回の5年に1度の違いは何か。	毎年行っている検査は基本新規採用の方で、今回は5年以上前の職員またはデータのない職員が対象となる。

《参考・複数者応札件数の割合》

〈年度〉	〈500万円以上の契約のうち随意契約を除く件数〉	〈複数者応札件数〉	〈割合〉
平成31・令和元年度	80件	23件	28.8%
令和2年度	88件	16件	18.2%
令和3年度	163件	34件	20.9%
令和4年度	134件	24件	17.9%
令和5年度	100件	22件	22.0%

【講評】

逸見委員

8件審議した結果、これといった問題はなかった。ほぼ全てが落札率100%近くとなっており、専門性の高いものはなおのこと、参考見積書を勘案して予定価格を算出しているため、結果として100%の落札率となっている。実験台やレーダーは特殊性が高く特定の業者が想定される場合は、あえて一般競争をせず随意契約で調達できるようにすべきではないか。500万円以上のうち随意契約を除く件数のうち、複数者応札件数割合が令和5年度で22.0%となっているので、この割合を維持、向上することを期待する。

杉野委員

全体をとおして大きな問題はなかった。設備の購入契約では、補償期間が1年間となっているが、場合によっては、2年若しくは3年になるものもあるのではないかと、今後の検討材料にしてほしい。

田代委員長

本来なら競争原理を働かせて複数者から入札してもらいたいところ、大都市圏と異なり地方大学では仕方なく1社による一般競争入札となっている。500万円以上のうち随意契約を除く件数のうち、複数者応札件数割合が令和5年度で22.0%となっており、この割合を維持、向上していく必要がある。随意契約の考え方が平成20年制定から16年経っているので、見直すことも検討してほしい。